

# 生きるということ

げんだい せいねん じぶん じしん いしき ちょうさ み  
現代の青年が自分自身をどう意識しているかという調査を見て  
いますと、たいへん印象的なことがあります。それは、「懂れる」とか「  
おも なや こうもく だんじょ くべつ たか  
思い悩む」といったような項目が、男女の区別をこえて、とびぬけて高  
かいとう  
い回答としてあがっていることです。

じだい せいねん ききょうつう しんり よ  
ここには、時代のちがいをこえて、青年期共通の心理を、よく読  
みとることができるのではないのでしょうか。つまり、現実の自己から理想  
じこ たか おも じぶん じしん ふか み  
の自己に高まりたいという思い、あるいは自分自身のところを深く見  
ないめんか よっきゅう しんり  
つめたいという内面化への欲求といってよいものです。こうした心理  
せいねん とくゆう してき こんにち  
は、むかしから青年に特有のものとして指摘されてきましたが、今日  
か おも  
でも変わっていないように思われます。

かんれん ひごろ わか ひと せつ き  
それと関連して、日頃、若い人たちと接していてよく気づかされる、  
ひと わか ひと じぶん たにん ただ  
いま一つのことがあります。若い人たちは、自分はどうも他人から正  
りかい なや  
しく理解されていないという悩み、いらだたしさをもっているのではない  
げん たにん み じぶん すがた  
でしょうか。現に他人から見られている自分の姿は、じつはほんとう  
じぶん すがた おも わか ひと  
の自分の姿ではないのだ、という思いなのです。ここには、若い人た  
ひとり じぶん たにん そんざい どくじ じこ  
ちが一人ひとり、自分は他人とちがった存在であり、独自の自己を

もった人間なのだ。そうでありたいと願っている、切実な気持ちがみられます。そのことは、若い人たちが自分自身にたいする関心、「私はいったい何ものなのか」という問いを、いまももちつづけていることの表われではないでしょうか。このように自己にたいする問いに目覚めるといふことは、自分のこのころの世界に目覚める第一歩だと思ひます。

ところで、このこのころというものについて、おそらくきみたちも、漠然と、こんなふうにかんがえているのではないのでしょうか。つまり、このこのころというものは、私たちが生まれ落ちると同時に自然に身に備わっているものだと。このようにかんがえている人は、意外に多いのではないかと思ひます。

しかし、これは、まったくのまちがいなのです。人間的な感動とか、このこのころの世界にたいする感受性といったようなものは、つね日頃から私たちが養い育てていかないと、身につかないものなのです。

それは、ちょうど私たちが大学に入って専門の勉強をするのと同じです。たとえば法学部の学生であれば、法律学というものの基本的な概念から勉強を始めて。四年間かけて、ようやく法律の体系とはどういふものかという専門の知識を身につけるわけですから。これに反して、このこのころの世界については、みんな意外と安易にかんがっています。そんな特別な勉強などなしにでも、生まれながらに身につけてい

おも  
ると思っています。しかし、けっしてそうではありません。わたし さんじゅうねん

かん だいがく わか ひと おお で あ かせ  
間、大学で若い人たちと多くの出会いを重ねてきました。そうしたな

そだ くんれん わか ひと  
かで、こころを育てるという訓練をいままでしてこなかった若い人が、

ふ き ひと  
だんだん増えてきていることに気づかされています。そういう人は、ほん

い み  
どうの意味で、こころをもっていないのです。

ひと おどろ  
こころをもっていない人がいるということは驚くべきことです。あまり

だいたん い さ さわ だいがくにゅう  
大胆なことを言うとあちこちに差し障りができそうですが、大学入

し むずか がく ぶ がくせい そだ かん じゅ  
試の難しい学部の学生ほど、こころが育っていない感じがします。受

けんべんきょう お せ かい  
験勉強に追われて、こころの世界をかえりみるゆとりのなかったことの

あら い み そだ  
表われなののでしょうか。そのような意味で、こころというものは育てるも

さいしょ はなし おも わたし  
のなのだということを最初にお話しておきたいと思います。私たちは、

ひ ごろ じ ぶん はたけ たがや みず そそ ひりょう  
日頃から、自分のこころの畑を耕して、たえず水を注ぎ、肥料を

ゆた と ち  
ほどこして、豊かな土地にかえていかななくてはならないのです。

みやたみつお  
宮田光男